

2025 年度 尚絅学院大学 総合型選抜（Ⅱ期）〔探究学習型審査 事前学習課題〕
心理・教育学群 学校教育学類

【事前資料】

松本美智子「小学校の読書―物語を楽しみ、言葉を育む」（立田慶裕編著『読書教育のすすめ―学校図書館と人間形成―』（学文社、2023年）所収 より

子どものことばの獲得は、基本的には家族・地域の人びと・友人・先生等周囲のたくさんの人たちとのコミュニケーションの中で行われている。もうひとつの極めて重要な方法が読書である。幼い子どもは母親が読み聞かせる絵本の中からたくさんの言葉を獲得する。自分で読めるようになると、読書の体験から間接的に多様な世界に入り込み、豊かな人物と出会い、未知の世界を楽しみ、共感や感動を覚えながらことばを獲得していくのである。

読書により、言葉を学び、感性を磨き、思考力を育み、確かな知識や判断力が身につくようになる。読書により、文章の価値や論理を学ぶ力がつき、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、個々に自己が形成される。読書によって得たものは、生活のさまざまな場面で生きて働くようになり、人生をより深く生きる力を身につけていく。

しかし、そうした読書活動が強制的に行われることには危険がともなう。読書の自律性や主体性を損なえば、読みの楽しみや学びの楽しみを身につけることがむずかしくなるからである。読書は、教員から教えられて知識を得る一方的な学習ではなく、児童自身が学び取っていく自発的で主体的な学習である。

一方、読書指導とは、図書資料を中心とした媒体を通して、事物・事象の認識を深めながら、人間形成を図ることを、意図的・計画的・継続的に支援する働きである。読書指導は、単に読み物としての文学作品を読み、本に親しませるばかりではなく、自然科学や社会科学などに関する知識・情報としての本・新聞・雑誌などを読んだり、何かを調べるために読んだりするという探究的な学習を視野に入れた読書活動を指導することでもある。

ただし、家庭における児童を取り巻く読書環境には大きな差があることを考えれば、学校教育における読書指導の課題は、第1に、読書離れの進んでいる現代の児童の生活の中に、読書をどう取り入れ、習慣化させ、自律的な活動に導くかという点にある。読書の主体性や自律性の形成である。第2に、漫画や雑誌、軽い読み物中心の軽読書傾向、つまり読書の幅の狭さと内容の貧しさがみられる児童の読書状況に対し、積極的に優れた本を紹介し、発達段階に応じてより高度な読書活動へどう導いていくかという点にある。読書の深化と拡大や高度化である。第3に、学校教育における読書指導においては、言語活動の充実という目標がさらに重要となる。小学校のカリキュラムでは、「読む」ことだけではなく、「書く」こと、「話す・聞く」ことと同時に、「伝統的な言語文化」に親しみ、豊かな言語文化への態度を身につけることが重視されているからである。書くことや話すことといった表現力が高まれば、読書という読む行為の力もいっそう高まる。こうした多様な能力の育成という視点から読書の指導は、各教科の基礎となる言語力そのものの向上にもつながる。

(…中略…)

本を読まない児童にその理由を聞くと、「特に本を読みたいと思わない」「何を読んだらよいか分からない」「本を読む時間が無い」などの答えが返ってくる。本を読まない児童は何の働きかけもしないと本を手にはすることはなく、学校図書館に進んでやってこようとし

ない。そのような児童に本を読む楽しさを知らせ、読書を習慣化させるのはとても大変なことである。

このような児童には、読書のきっかけを与え、その楽しさを伝えることが第一である。何らかの働きかけがなければ決して本を手にすることがない児童に本への興味をもたせ、本を読む楽しさを実感させ、読書の習慣化を図る読書指導が必要である。たとえば、読書の記録を書かせ読書量を競わせる読書活動がある。このような読書活動は児童の興味を本に向けさせ読書量を増やす点では非常に効果的であるが、読書の質的向上には直接つながらないだろう。

読書に親しむことを目的に、以下のような導入的な読書指導がある。

朝の読書は、みんなでやる（全校一斉で行う）、毎日やる（1日10分程度は短いように思われるが、毎日根気よく続ける）、好きな本で良い（読む本は子ども自身に選ばせる）、ただ読むだけ（読むことがすべてであり、それ以外は求めない）の4つの原則をもって実施されることが多い。

この活動は、日ごろ本に親しむことの少ない児童に短時間であれ読書の時間を確保し、毎日続けることで読書習慣を身につけさせるという点で非常に効果的である。

一人ひとりが自分が読みたい本を10分程度ただじっと静かに黙読するという読書の仕方のほかに、担任が読み聞かせやブックトークで読書案内したりするのは、朝の読書に変化をもたせ、読書の幅を広げることにつながる。

【事前学習課題】

1. 子どもが読書を行うことの意義（重要性）について、事前資料の内容に基づきまとめてください。
2. 学校教育における読書指導の課題はどのような点にあるでしょうか。事前資料の内容に基づきまとめてください。
なお事前資料に記述されている「小学校のカリキュラム」とは小学校の教育課程のことです。各学校は文部科学省の定める小学校学習指導要領に基づいて教育課程（カリキュラム）を編成しています。
3. 事前資料にある「朝の読書」とはどのような活動でしょうか。また、どのような効果が期待され、どのような課題（問題点）が考えられるでしょうか。資料やウェブサイト等を基に調べ、まとめてください。
4. 事前資料にある「読み聞かせ」「ブックトーク」とはどのような活動でしょうか。資料やウェブサイト等を基に調べ、まとめてください。